

The 1st Basic Disaster Life Support Course in Kanazawa

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/25153

『学会開催報告』

第1回 Basic Disaster Life Support (BDLS)金沢コース The 1 st Basic Disaster Life Support Course in Kanazawa

金沢大学附属病院 集中治療部

谷 口 巧

平成22年6月19日(土), 金沢大学医学類教育棟の第3講義室を会場として第1回 Basic Disaster Life Support (BDLS) 金沢コースを開催しました。当日は当初小雨の降りしきる中での開催となりましたが、後に晴れ間も見え、北陸を中心として東海、関西から計169名の受講生を集めることができました。この受講生は、医師、看護師、救急隊員(救命士を含む)、医療事務員と多職種の人たちが含まれています。

本コースは、2001年9月1日アメリカ合衆国(USA)でテロが起き、その際の対応に不備があったことを反省して、アメリカ合衆国連邦政府がアメリカ医師会とアメリカ救急医学会に要請し、心肺蘇生法(Cardiac Life Support)や外傷初期対応(Trauma Life Support)のように、全国民が災害に対する一定の知識を備えるようにと作成した教育トレーニングプログラムの1つです。BDLSはUSAで2004年から開催され、これまでに10万人近くの市民が受講しています。日本にはこのような災害に関する教育プログラムではなく、救急の現場に従事している人たちでさえ十分教育を受けていない状況でした。しかしながら、2008年東京医科歯科大学にトレーニングセンターが設立され、今年より地方開催も可能となり、今回はじめて金沢での開催にこぎつけることが出来ました。

プログラムの内容としては、災害に対する知識を身につけた医療従事者の数を最大限にして、災害時、または災害に備えて、共通の概念と言葉を持って対応できるようにしていくことを目的として、総論から始まり、災害時にどのように対応したらよいかを順に、Detection(覚知)、Incident Management(インシデントマネジメント)、Safety and Security(安全性とセキュリティ)、Assess Hazards(ハザードの評価)、Support(支援)、Triage /Treatment(トリアージと治療)、Evacuation(搬送・避難)、Recovery(回復・復興)と、DISASTERパラダイムとして、項目ごとに解説しています。さらに、自然災害から人的災害、テロ(生物兵器、化学兵器、放射能、核兵器など)に至るまで各種災害に関して詳細に解説し、のべ8時間の充実した講義内容となっています。また、公的機関の対応の重要性や、マスメディアへの対応の仕方まで講義しています。USAでの講義内容に加

えて、日本での開催ならではの内容として、各講義終了後、日本での対応も講義するようになっており、災害に対するUSAと日本との比較も学ぶことが出来るようになっています。

講師は、東京医科歯科大学救急災害講座の大友康裕教授をDirectorとして、全国から計7名の救急、災害に卓越した医師を迎えて行うことができました。

講義終了後、アンケート調査を行い、受講生全員が災害に関して自分なりに知識を深めることができ、また受講したいとの感想を頂きました。さらに、BDLSを踏まえたより高度の教育プログラムであるAdvanced Disaster Life Support (ADLS)にも是非参加したいとの意見も多く頂きました。

今回のコース成功で、北陸をはじめ中部、関西地区の医療従事者が災害に関して、より一層の興味を持ち、知識も深まったと確信しております。さらに、今後の開催に意欲が出ております。これもひとえに、十全医学会をはじめ協力していただきました企業の皆様のご協力の賜物であったと深く感謝しております。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

